

農業をリタイアする方に協力金が出ます

あまり知られていませんが、高齢で農作業ができなくなり、農業をリタイアする方や施設野菜（水稻）に専念したいので田（畑）はやめたいと思っている方は、農地中間管理機構に農地を10年以上貸し付け、受け手農家に借り受けられた場合に協力金が交付されます。また、リタイア以外にも地域への協力金もあります。

詳しくは農政係へ ☎50-1138

飼料用米による米の需給調整への協力を！

米の生産調整は、平成27年作より全国的には達成されており、米価も回復基調となってきました。しかしながら米の生産調整については、千葉県は全国で一番悪い状況となっております。東金市では、平成27年度より飼料用米に対する市単独の助成金10a当たり5,000円を支出していましたが、平成29年産からは増額の方向で進めているところです。なお、市の助成単価が決まりましたら、広報・回覧などでお知らせいたします。

また、加工用米やWCSなど主食用米以外の作付に対する補助金もありますので、お気軽に担当課に連絡して下さい。

詳しくは農林振興係へ ☎50-1137

住宅リフォーム補助金の推移

平成25年度から、住宅（自己居住）のリフォーム工事を市内本店の施工者が行う場合に、工事に要した費用の一部を補助しています。27年度は予算額が1,000万円で、72件、980万1千円の交付を、また、28年度は予算額1,000万円で5月から受付し、6月初旬には申し込み多数により予算額に達したため受付を終了しています。来年度は早めの申し込みを！

木造住宅の耐震補助制度の推移

平成22年度から（災害に強いまちづくりを推進するため）、木造住宅の耐震診断と耐震改修の補助制度を設けており、建築士による耐震診断を行なう場合や市内施工者が耐震改修工事を行なう場合に、これらに要した費用の一部を補助しています。27年度は診断と改修を合わせ予算額170万円で、2件、94万円を交付し、28年度は予算額170万円で、現在受付中となっています。

詳しくは都市整備課 施設管理係へ ☎50-1150

市民ファーストのまちづくり 市政に新しい流れを！



せいみや利男の

“子どもは宝”と昔から言われています。

次世代を担う子ども達のことを考え、東金市をベストの状態に引き継がせてあげるのが私達の使命です。箱物・目先・思いつき、に代表される無駄や場当たりのな市政は一新しなければなりません。

すなわち、絶対に子ども達に“ツケ”を回してはいけません。私たち議員の責任は大きいと思います。

安全で魅力あるまちづくり

- 道の駅「みのりの郷東金」などを活用した6次産業化の推進
- 城西国際大学・農業大学等と市民連携による“まち”の活性化
- 正確・迅速な防災情報、避難所体制の推進
- 就労世代・子育て世代に選ばれるまちづくり



圏央道東金ジャンクション

安心な子育て支援・教育のまちづくり

- 公立幼稚園の預かり保育拡充などにより待機児童を解消
- 妊娠・出産から子育ての切れ目のないきめ細やかな支援の推進
- 3人目の子どもからの保育料無料化対象の拡大（長子が18歳未満）
- 健全でいじめを許さない学校教育の推進

医療・介護・福祉の充実したまちづくり

- 高校生までの医療費拡充と義務教育までの無料化
- 東千葉メディカルセンターの県支援を含めた経営改善
- 高齢者の生きがい支援と介護サービスの拡充
- 障がい福祉の推進とノーマライゼーションの普及



東千葉メディカルセンター

行財政・議会改革の推進

- 情報公開の推進と透明性の確保
- 市民協働の推進と身近な市役所（行政）・議会の実現
- 公設民営化（民間に出来ることは民間で）
- 使いきり予算を止めて、税金の無駄遣いをなくす

プロフィール

昭和33年 1月15日生まれ
昭和45年 東金市立丘山小学校卒業
昭和48年 東金市立東金中学校卒業
昭和51年 千葉県立東金商業高等学校卒業
昭和55年 立正大学経営学部経営学科卒業
（学園祭実行委員会委員長）
昭和55年 網中産業株式会社入社
平成21年 網中産業株式会社退社
平成21年 東金市議会議員 初当選
平成25年 東金市議会議員 2期当選



丘山地区防災訓練にて

議会経歴

- 文教厚生常任委員会 委員長
- 建設経済常任委員会 委員長
- 東金市農業委員会 委員
- 東金市ガス運営委員会 委員長
- 予算審査特別委員会 副委員長
- 決算審査特別委員会 副委員長
- 東金市健康づくり推進協議会 会長など



放置自動車廃物委員会 会長

せいみや利男 後援会

〒283-0824 東金市丹尾150

TEL 090-3680-0818 FAX 0475-52-7015

討議資料

若さ・情熱・実行

とし お せいみや利男 まちづくりレポート

平成28年12月1日 発行／せいみや利男後援会事務所 東金市丹尾150 TEL.090-3680-0818 FAX.0475-52-7016

市民ファーストのまちづくり

日頃から市民の皆様には、ご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

今年も研鑽を重ねつつ、皆様の声を迅速かつ的確に市政に反映させるために全力で活動してまいりました。

今回は、「市民ファーストのまちづくり」のテーマのもと、東金市の現状と主な取り組みをご報告いたします。

東金市議会議員 せいみや利男



東千葉メディカルセンターの運営状況について

旧県立東金病院の機能を引き継ぎ、平成26年4月に開院した東千葉メディカルセンター（東千葉MC）は、3次救急医療と高度医療を主体とした病院です。

東千葉MCが開院したことにより、山武郡市以外への救急車の搬送率が41%から27%に改善され、救える命が増加し後遺症が軽減されています。

昨年11月に独法の理事長から、看護師不足で病床が開けず平成28年度内のフルオープンには困難であると申し出がありました。その後、平成28年2月に現状分析や経営改善策の策定などを委託した千葉大学医学部付属病院の報告書によれば、財政状況は「危険水準」とであると指摘しています。

どういう内容かと言いますと、東千葉MCの経営は、平成26年度が15億4,000万円の赤字で平成27年度が16億6,000万円の赤字となっていて、2年間の累積赤字額は32億円にもなります。本年度決算も赤字は決定的で、12月定例議会に設立団体（東金市74.1%・九十九里町25.9%）から3億円の追加支援を含む中期計画変更の議案が提出されます。

私は7年前から言ってきたことですが、この病院事業は3次救急医療を行うことで救急車の管外搬送率が改善され、救える命が増加することは良いことで事業に対しては賛成ですが、当時の旧県立東金病院は、専門家である県が病院運営をしても毎年8億円から10億円の赤字を出していたことから、東千葉MC開院後も運営赤字は発生すると思われるので、県に支援を求めるべきと主張してきました。しかし、その主張は取り上げられず現状では赤字運営になっています。

昨年11月の中期計画断念の申し出から、すでに1年が経過していますが、このスピード感や緊迫感のなさは、巷で言われている「この病院、誰が責任を取るのだろうか」という話に繋がると思います。



「道の駅」みのりの郷東金の運営状況について

平成26年4月に、市民の豊かな暮らしを支援する産業交流拠点として「みのりの郷東金」がオープンし、さらに平成27年11月には、県内で27番目の「道の駅」として登録されました。「道の駅」となったことにより、マスコミなどで紹介が多く行われ知名度が上昇したことにより、現在多くのお客様に訪れていただいております。

また、「道の駅」として登録されたことによる売上への効果は絶大で、平成26年度と平成27年度の売上を比較いたしますと、平成26年度が3億5,150万円に対し、平成27年度が5億5,211万円となっていて、43.7%の大幅な増加となっています。平成28年度についても、第1四半期の売上を平成27年度と比較いたしますと、約35%の増加と順調な推移を見せています。

年間を通じてイベントも行っていますので、ぶらりと立ち寄っていただき買い物や食事などいかがでしょうか。



市の人口構成



市の総人口は、平成28年4月1日現在59,962人で、そのうち65歳以上の高齢者は15,739人で、高齢化率は26.25%です。高齢者人口は、平成24年の13,276人から4年間で18.6%増加しています。年齢区分で見ると、後期高齢者が12.9%増加に対して、前期高齢者は23.5%の増加となっており、前期高齢者の増加率が高くなっています。総人口は減少する中、高齢者は増加傾向にあることから、高齢化率は年々上昇しています。

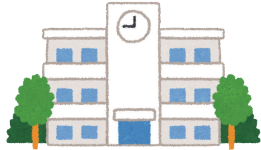
高齢者数の推移

	前期高齢者数 (65～74歳)	後期高齢者数 (75歳以上)	高齢化率
H24	7,081	6,195	21.87%
H25	7,415	6,436	22.90%
H26	7,880	6,571	23.95%
H27	8,352	6,805	25.18%
H28	8,745	6,994	26.25%

市債ローン残高の推移

市債残高については、近年実施してきた「城西小学校の改築(平成24・25年度)」、「東金中学校の新築(平成25年度～27年度)」、「小学校の耐震補強及び大規模改造<トイレ改修等>(平成25年度～27年度)」などや、東千葉メディカルセンターの建設及び医療機器の整備などに係る市債の発債により増加してきており、平成27年度末時点の市民一人あたりの残高は約40万1,500円で県内37市中の多い方から11番目となっていて、平成23年度末時点の残高約25万8,600円から増大しています。

今後も、道路や水路などのインフラの老朽化対策等に係る経費や、東千葉メディカルセンターの運営等に係る負担などといった財政需要が見込まれます。



市税収入の推移

東金市の財政状況を、平成27年度決算数値から見ますと、歳入面では、国における経済施策の一つである法人に対する税の優遇措置や固定資産税の評価替え等の影響により、市税収入が前年度比1億3,106万円の減額、1.8%の減率となっています。

また、平成29年度においても、市税収入の大幅な増加は望めない状況から、財政調整基金(市の貯金)の効果的な活用を行い、市民生活の向上を図っていく必要があります。

歳入額の推移【一般会計】

	歳入額
H13	200億8,382万円
H16	192億4,549万円
H19	174億8,403万円
H23	177億8,821万円
H27	227億9,911万円

市税収入額の推移

	市税収入額
H13	75億7,292万円
H16	69億3,471万円
H19	79億0,240万円
H23	74億0,142万円
H27	72億3,806万円

市たばこ税の推移



平成27年度の市たばこ税の税収は5億5,400万円です。たばこの値上がりや健康志向により売渡本数が年々減少しているため、税収も微減となっています。ちなみに、平成27年度の法人市民税は5億2,000万円で、市たばこ税の方が税収としては多いことをご存知でしょうか。

※健康のためには禁煙を！喫煙する人は市内でたばこを購入しましょう。大切な財源です。

犯罪発生率が2年連続県内ワースト2位

市における平成27年の犯罪認知件数は800件で、最も多い平成14年度の2,218件と比べると約3分の1にまで減少しています。しかし、人口1万人あたりの犯罪発生件数(犯罪発生率)は、県下自治体で2年連続ワースト2位となっていますが、過去10年間ではワースト1位が6回となっています。自転車盗・車上ねらいなどの窃盗犯が多いことが特徴で、治安指数が悪い要因の一つとして、犯罪意識の希薄さが考えられます。

改善に向け市では、青色防犯パトロール車・防犯組合・PTAなどによるパトロールや防犯講習会の実施、防犯灯の設置や樹木の選定、更には平成23年度より防犯カメラの設置(※現在23台設置)による犯罪の発生しにくい環境整備を行っています。またメールで不審情報を配信するなどして市民と情報の共有を図っています。

身近な犯罪発生状況

年	空き巣	忍込み	車上ねらい	自転車盗	オートバイ盗	自動車盗
H25	41	9	128	170	60	41
H26	26	39	62	143	30	35
H27	19	37	45	152	31	19

電話de詐欺(特殊詐欺)

「電話de詐欺」とは、「電話その他の通信手段を用いることにより、対面することなく、面識のない不特定多数の者をだまし、架空または他人名義の口座に現金を振り込ませたり、現金を準備させて受け取りに来たりする手口の詐欺」を言い、「オレオレ詐欺」、「架空金詐欺」、「融資保証金詐欺」、「還付金詐欺」はその代表的なものです。

県警では、被害拡大を防ぐため詐欺グループのメンバーだけでなく、詐欺グループに口座を譲り渡したり、携帯電話を提供したりする「助長犯」の検挙にも力をいれています。

「おかしい」と思ったら、まずは警察に相談を！

電話de詐欺(特殊詐欺)犯罪発生件数【暫定値】

	県内		市内	
	件数	金額	件数	金額
平成25年	839	約31億8,957万円	1	約100万円
平成26年	1,135	約47億1,246万円	13	約5,031万円
平成27年	971	約30億3,543万円	7	約2,198万円
平成28年(9月末)	819	約16億3,907万円	9	約1,311万円

いじめ問題への対応

平成27年度の市内小中学校のいじめの認知件数は25件です。また、教育委員会内の「いじめ・生徒指導相談窓口」への「いじめ等友人関係」を理由とする相談件数は15件でした。

各学校では「学校いじめ防止基本方針」にもとづいて、いじめ問題の解消に向け取り組んでいるところです。委員会内の相談窓口相談があった場合は、担当の指導主事が学校と対応について協議を行う等組織的に取り組んでいます。

いじめは子どもたちの心に大きな傷を負わせる行為です。私は、健全でいじめを許さない学校教育の推進に努めていきます。

学校施設へのエアコン設置と老朽化対策

東金市教育振興基本計画及び第4期基本計画において、夏の教室内の環境改善のため、今後5年間に空調設備を85%の教室などに設置する目標を立てています。

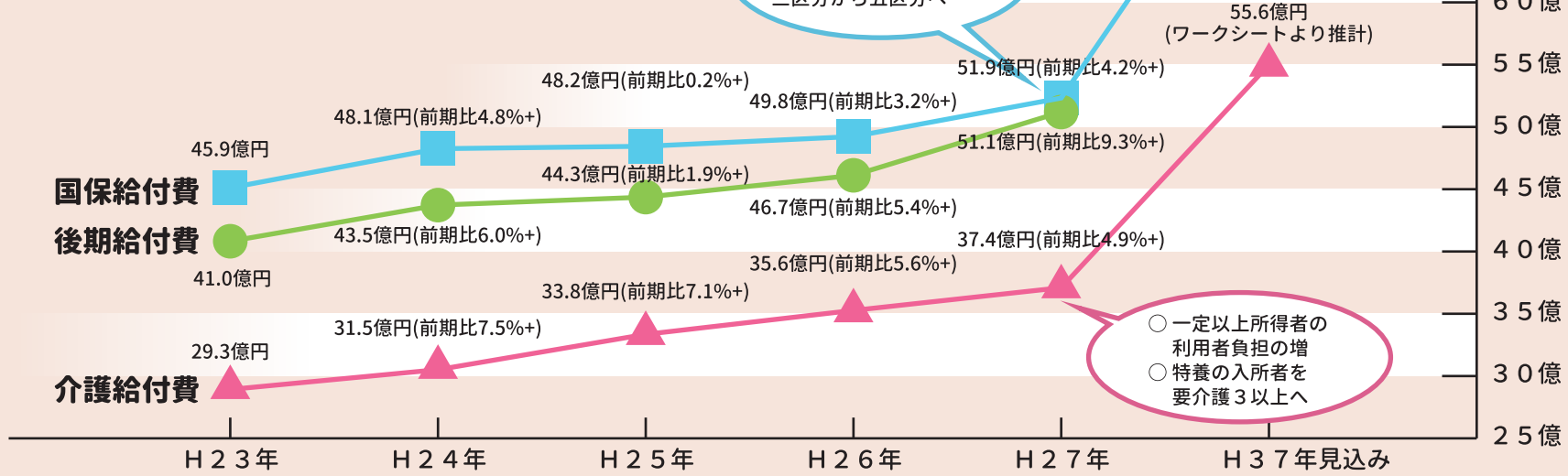
また、東金市内の学校施設は昭和42年度～平成5年度に建設された施設が多く、建設後40年～23年が経過しており、施設の老朽化対策が必要になっています。今後5年間に建設後40年を迎える施設の60%にあたる10棟の老朽化対策を実施する予定です。

社会保障費の増大と少子高齢化社会

社会保障費(年金・国保・介護・子育てなどへの支出)の増大が止まりません。社会保障は、個人の生活上のリスクを社会全体で分散し、個人の負担を軽くする仕組みで、病気や怪我、あるいは老いによる身体機能の低下などの生活上の危機や困難を軽減するために用意された制度です。この制度を維持していくことが、少子高齢化と人口減少により危うくなっています。

国民健康保険の給付費は、平成22年度が44億円であったのに対し、平成27年度の決算額は51億9千万円と5年で約8億円近く増額となっています。

国保・後期・介護給付費の推移



国民健康保険税

国民健康保険税の課税限度額の見直し

	H27	H28
基礎課税額	52万円 ⇒ 54万円	
後期高齢者支援金等課税額	17万円 ⇒ 19万円	
介護納付金等課税額	16万円 ⇒ 16万円	

※限度額は所得一定額(夫婦と子2名の4人世帯の場合、基礎課税額で所得655万円)以上には限度額以上は課税されない

国保税納付状況

	H23	H24	H25	H26	H27
全体	56.8%	55.9%	55.8%	55.3%	56.0%
現年	81.3%	80.8%	83.9%	85.2%	87.0%
過年	15.4%	14.6%	13.1%	11.6%	12.6%
未収	14.8億円	15.3億円	15.8億円	15.7億円	14.9億円

※滞納者に対して(H28.6.1現在)6ヶ月以内の短期保険証納付相談に応じない資格証明書 1,298世帯 2,673人 447世帯 637人

保険税減免

年度	減免件数
H23	26件
H24	37件
H25	19件
H26	21件
H27	6件

介護保険

東金市高齢者の現状

※H28.4.1現在
高齢者(65歳以上)数1万5,739人(高齢化率26.2%)
要介護等認定者2,420人
※第7次高齢者保健福祉計画(H27～29年)H32年度高齢者数1万7,218人(高齢化率29.7%)3.3人に1人が高齢者
要介護等認定者2,989人
H37年度高齢者数1万8,110人(高齢化率32.6%)3人に1人が高齢者

高齢者世帯(H27年)

※高齢者のいる世帯10,184世帯40.6%(H22年比17.9%+)
※ひとり暮らし高齢者世帯2,297世帯(H22年比34.5%+)
※高齢者夫婦のみ世帯2,250世帯(H22年比33.4%+)
つまり、ひとり暮らしと高齢者夫婦のみで4,547世帯となり、核家族化が進行しています。

高齢者支援策

※軽度生活援助(掃除など生活援助)現在149人の方が登録、利用
※あんしん電話24時間対応、159台設置
※支えあいサービス(社協)一人暮らしの高齢者に月2回の訪問、週に1回の安否確認を目的に電話



生活保護扶助費の推移

平成23年から5年間で、生活扶助費の総額は約1.3倍に増加しています。平成20年のリーマンショックをきっかけに急激に増加した生活保護受給者数は、平成24年の有名芸人の母親が生活保護を受給していた問題でいったん増加に歯止めがかかりました。しかし、少子高齢化、核家族化等の構造的な問題に加え、団塊の世代が高齢となったことや消費税増税による生活費の負担増から受給者数・扶助費ともに減少には転じておりません。

生活保護扶助費の推移と被保護世帯・被保護人員の推移

	H23	H24	H25	H26	H27
生活保護扶助費(合計)	11億240万	11億2,423万13	13億2,413万13	13億7,705万	14億5,829万
被保護世帯数	473	509	551	575	607
被保護者数	623	680	731	766	810
扶助費対前年比	10.05%	1.98%	17.78%	4.00%	5.90%